

# 山行報告書

日時	2015年8月7日(金)～11日(火)		天候	7日～8日 晴 9日 晴 午後曇り 10日～11日 晴
山名	北岳・間ノ岳・農鳥岳(白峰三山)			
CL	阿部(功)	参加者	財津・小山・前澤・熊谷	
(コース)	<p>8月7日 博多レンタカー20:00集合・出発＝福岡IC</p> <p>8月8日 ＝名古屋＝新清水IC＝奈良田温泉P(バス)13:32＝広河原14:10(標高1529m) ＝白峰御池小屋17:40(標高2240m) テント泊 歩行距離:3.8km 時間:3時間10分 標高差:＋711m</p> <p>8月9日 白峰御池小屋5:00・・・北岳肩の小屋(標高3000m)7:30・・・北岳(標高3193m)10:40 ・・・北岳山荘(標高2902m)11:10昼食 12:00出発・・・中白峰(標高3055m)12:55 ・・・間ノ岳(標高3190m)・・・農鳥小屋(標高2800m)16:15 テント泊 歩行距離:10km 時間:11時間15分 標高差:＋1241m、－681m</p> <p>8月10日 農鳥小屋(標高2800m)5:10・・・西農鳥岳(標高3051m)6:10・・・農鳥岳(標高3026m)7:25・・・ 大門沢下降点8:25・・・大門沢小屋(標高1715m)11:45(昼食)・・・ 奈良田温泉P(標高820m)16:30(レンタカー)＝下部温泉(旅館)18:00 歩行距離:16.0km 時間:11時間20分 標高差:＋251m、－2200m</p> <p>8月11日 下部温泉5:50(レンタカー)＝新清水IC＝名古屋＝福岡IN＝博多レンタカー23:00</p>			
(コメント)	<p>昨年台風で中止になった同コースのリベンジの山行でした。1名以外は同メンバーです。今年も台風13号・14号とダブルの接近で心配しましたが、幸いコースがずれ山行中雨ひとつ遭わない好天候に恵まれました。</p> <p>二日目は、奈良田温泉の駐車場に9:30着き、バスは13:32発なので のんびりと木陰で昼寝をし昼食をとり広河原に行きました。 広河原からは北岳が真正面に聳えて見えます。いよいよ山行です。 登り始めバス酔いのために意外にもO氏が少し遅れがちでしたが、高低差700mを3時間10分とコースタイムで白根御池小屋に着きました。</p> <p>白根御池小屋は色とりどりのテントでいっぱい小屋泊希望の私でしたがテント泊する人の多さに驚きました。夕食はリーダー準備の筍やクラゲ入りの焼きそばを美味しく頂きました。水はふんだんに汲むことが出来、明日持っていく水2.5リットル汲み、夜空に美しい星を見ながら1日目が終わりました。</p> <p>朝起きるとテント泊したところから真上に北岳が聳えミヤマシンドウが茂る直登道が見れます。天気も快晴きつと富士山を見ることが出来るとワクワクでした。直登はきつく休憩を取りながら登ります。 樹林帯を抜け小太郎尾根に着くともう富士山が見えています。 足元には紫のイワギキョウや白い花が咲いていて疲れを癒します。 肩の小屋に着くと息を飲むような絶景、皆思わず感嘆の声をあげました。近くに鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、遠くに待望の富士山、そして北アルプス、中央アルプス、御嶽山、八ヶ岳を見ることができ、この眺めに酔いしれる一時でした。一休みし、北岳へあと一息です。 北岳山頂に着くと富士山をバックにシャッターを切る大勢の人で一杯でした。私達も5人そろって記念写真を撮りました。北岳からはこれから進む間ノ岳、農鳥岳を含む360度のパノラマ、絶景でした。</p> <p>次のテント泊地農鳥小屋まで先が長く出発しなければいけません。北岳からは北岳山荘が見れ300mの下りです。 北岳山荘で昼食をとるところから雲がかかり始めました。北岳山荘を出てからすれ違う人も少なくなりました。「これから農鳥小山までの道のりは長いので炎天下より良いね」と言いながら歩きます。 山の標識らしきものがなかなか見えず、どのどの山が間ノ岳か、いつまで行ったら着くのかと思いながら進みます。道は700～800mもあるかと思われるすり鉢状のカーブの連続です。足を踏み外すとサーッと滑り落ちるだろうなと思いつつ進みました。 岩峰の間には色とりどりのお花畑が咲き、雷鳥の親子にも逢えました。やっと標識らしきものが見え間ノ岳に着きました。間ノ岳で農鳥小屋から登ってきた一人の男性に会い小屋の事聞きましたが余り期待出来ない答えが返ってきました。</p>			

小屋を目指し下ります。  
 しかし行けども行けども小屋らしきものが見えて来ません。道を間違えた？いや矢印がありこの道に違いない！岩壁に囲まれた農鳥小屋とは知っていましたが着いてみてやっと小屋全体が見える、着くまではどこからも見えない所にあり在りました。

流石にこの日は疲れテント場からトイレまでが何としんどかったことか！  
 この日の夕食もリーダー準備の美味しいラーメンを戴きました。次の日登る農鳥岳への急坂がテント場から直ぐに見え、登る元気が萎えました。

翌朝3時に起床し、テントの外へ出るともう山にライトの光が見え登っているグループがあります。朝食をとり準備を終えたころにはまた好天のようで素晴らしい日の出を迎え富士山も素晴らしい形を見せてくれました。  
 昨日の疲れはすっかり消え元気も出て来ました。本で200m登った後下りと思っていた山はとんでもない！急登から始まり大きな岩峰を越え西農鳥岳と3つほどのピークを越え農鳥岳に着きました。やっと着いた農鳥岳からはこれまで登った北岳、間ノ岳が眺望出来ました。頭に描いていた行程と全く違い南アルプスの奥の深さを思い知りました。

よくここまで歩いてきたものだという思いを後にこれから奈良田温泉までの長い長い下りです。  
 急坂の連続、九十九折の道です。標高が下がると今まで出てなかった汗がどつと出てきます。沢が有りペットボトルの水を汲み替え、頭から水を被ります。やっと大門沢小屋に着き昼食を取りました。その後4時間の下りで奈良田温泉に着きました。途中万全の体調でなかったZ氏の足の痛みが出てKさんから湿布スプレーを借りズボンを下げ股にスプレーをしている痛々しい場面もありましたが、大幅な時間の遅れもなく皆無事下山することが出来ました。宿に着き風呂を浴び達成感、充実感、満足感で一杯でした。

宿を6時前に出発し一路福岡へ、渋滞もありましたが(最後A氏が助手席のZ氏の面白話に気を取られ降りるICを間違いもありました(笑))その日のうちに帰福、終電にも間に合いました。トイレ休憩のときにZ氏から私の足の浮腫を指摘され、それが高山病であることを知り、高山病は下りてからも症状が出る事も知りました。

私にとってコースといいテント泊といいチャレンジの山行でした。イメージトレーニング、ザックの重量、飲み水の量等考え、どの位だったら大丈夫か出発まで考えての参加でした。お陰で最初から最後まで快調に歩くことが出来ました。5名全員が参加できた事に感謝し、憧れの北岳からの富士山が見れた事に感謝します。

(前澤記)

(費用概算)	トータル／人	35,200円
	交通費／人	25,526円
	内訳 (レンタカー65232円+ガソリン代23167円+高速代33580円+バス代5650円) ÷ 5	
	食 糧／人	3,260円
	宿泊費／人	6,350円

